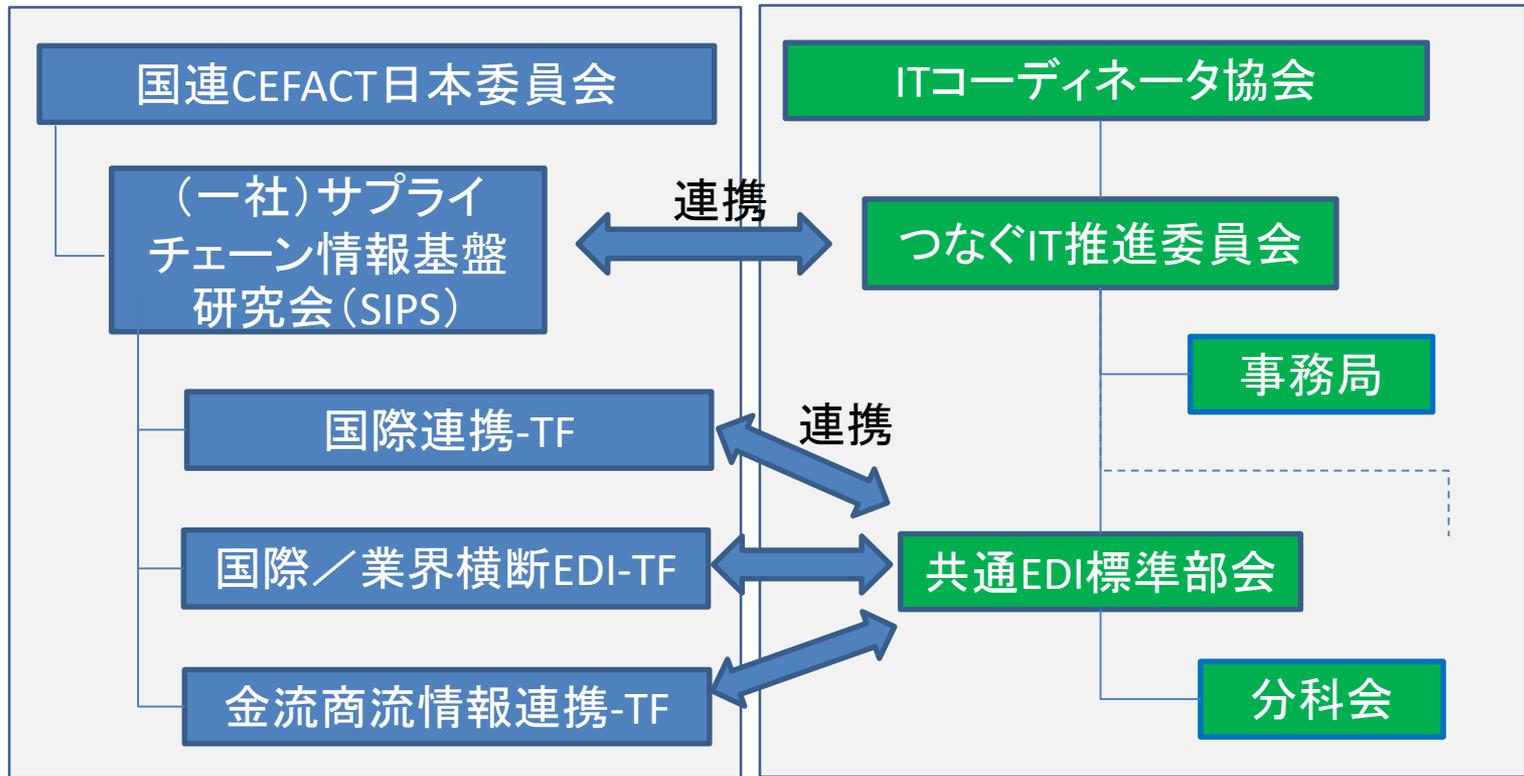


# 中小企業共通EDI標準の バージョンアップと 今後の取組み

特定非営利活動法人  
ITコーディネータ協会  
つなぐIT推進委員会  
共通EDI標準部会

# 中小企業共通EDI標準管理体制



注1: SIPSは業界横断EDI仕様(国連CEFACT標準準拠)を策定

ITC協会はSIPSの賛助会員

注2: ITC協会は中小企業共通EDI標準を策定

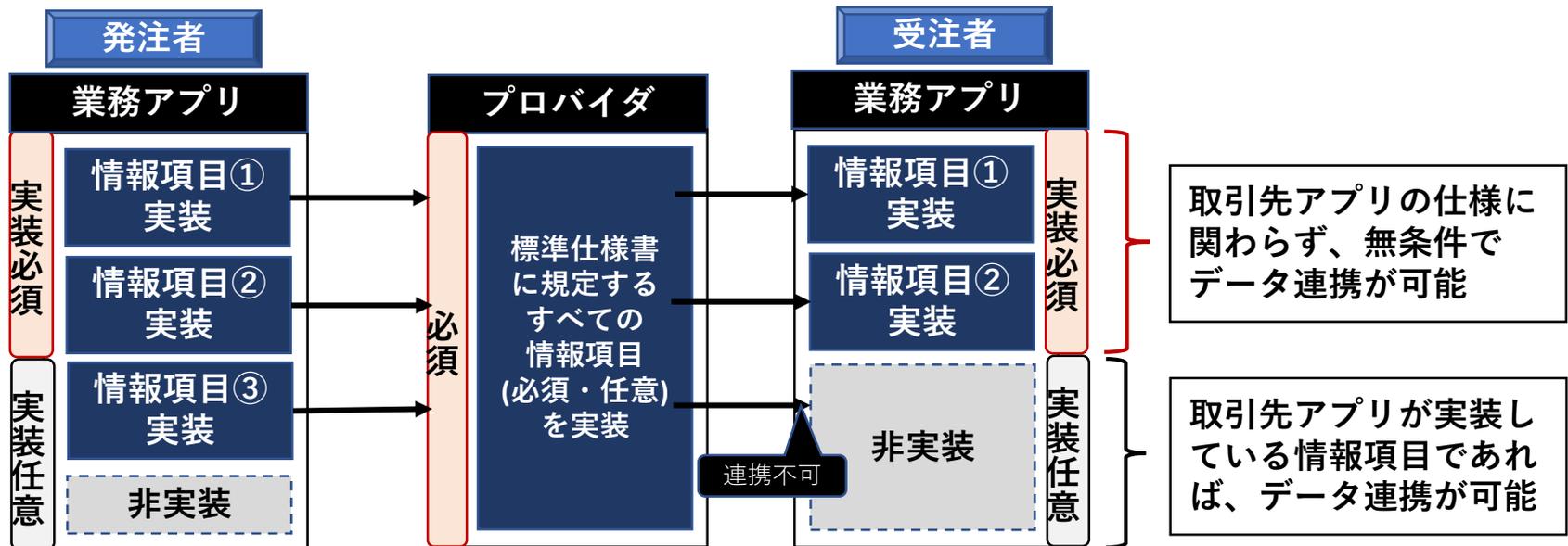
中小企業共通EDI標準は業界横断EDI仕様の中小企業ドメイン拡張版セット

# 中小企業共通EDI標準

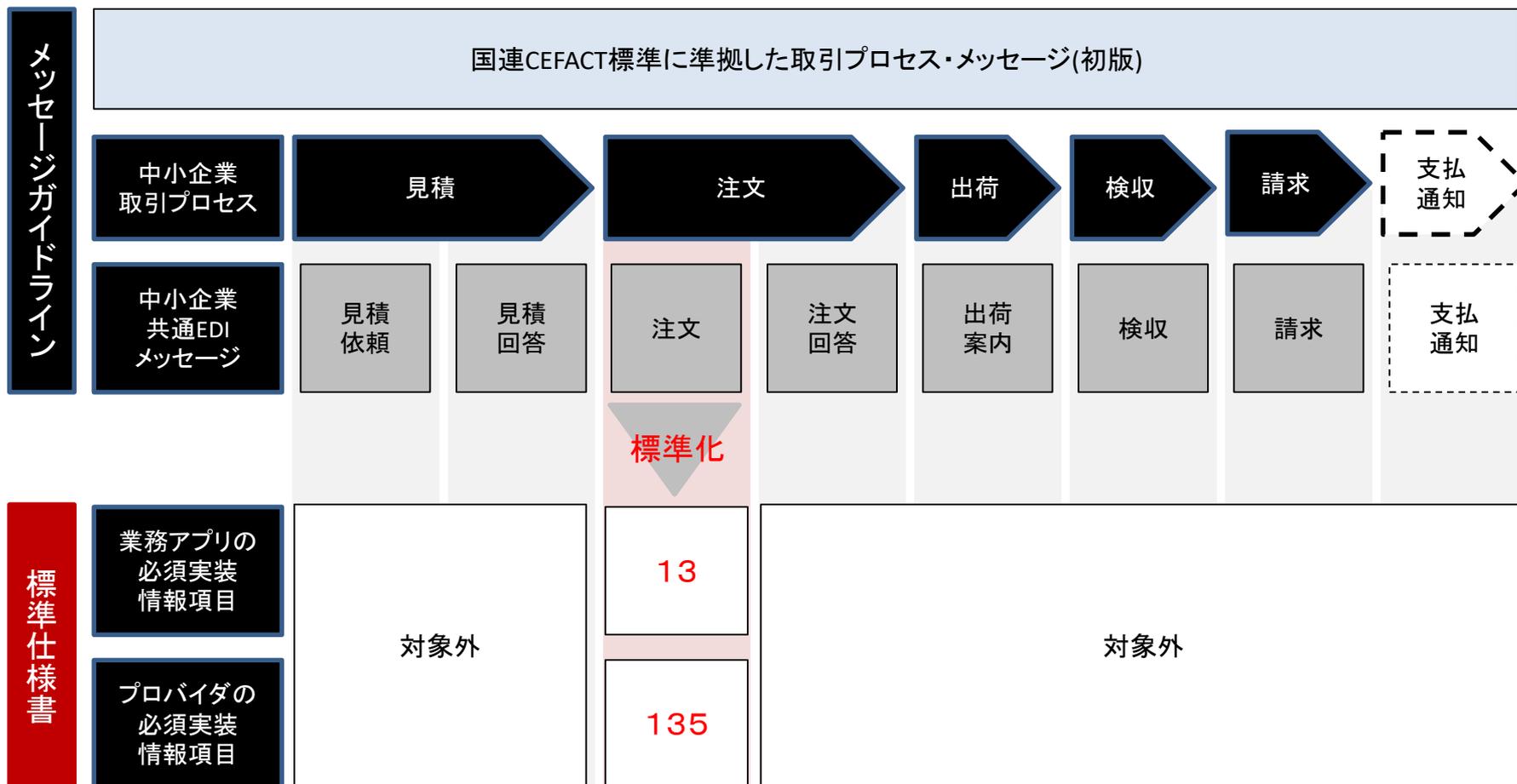
- 中小企業共通EDI標準の構成
  - ① 中小企業共通EDI標準仕様書
  - ② 中小企業共通EDIメッセージガイドライン【参考資料】
  - ③ 中小企業共通EDI実装ガイドライン【参考資料】
- 中小企業共通EDI標準のポイント
  - 業務アプリの「**相互連携性**」
    - 異なるベンダー製アプリ間でEDIデータ交換を可能とする
    - ①中小企業共通EDI標準仕様書に規定
  - 「**レディーメード（既製服）型EDI**」
    - 標準適合業務アプリを購入してインターネット接続すれば、すぐにEDIが利用できる環境の実現を目指す
    - ②メッセージガイドライン、③実装ガイドラインに要件を記載

# 相互連携性の考え方

- 送信者と受信者間のEDIデータ交換は業務アプリが実装している情報項目だけが可能
- 「中小企業共通EDI標準仕様書」はすべての業務アプリが共通に実装すべき情報項目を規定
  - 第1弾として中小企業共通EDI標準（初版）は注文メッセージの13項目を必須情報項目として規定



# 中小企業共通EDI標準（初版）の標準化範囲



# 中小企業共通EDI標準のバージョンアップ

- バージョンアップV2.0の要点
  - 次世代企業間データ連携調査事業（平成16年度補正予算）のパブリックコメントで提示された意見のうち、次年度以降の対応に先送りされた事項への対応
    - 注文メッセージ以外の取引プロセス（見積、見積回答、注文回答、出荷、検収、請求、支払通知）へ拡張
  - 改正消費税への対応
    - 区分記載請求書に記載を求められた情報項目を必須情報項目として追加
    - 適格請求書に記載を求められた情報項目等を任意情報項目として追加
  - 全銀EDIシステム（ZEDI）への対応
    - 支払通知メッセージを新規に策定して追加
  - 国連SEFACT共通辞書新規登録IDへ置き換え
    - SIPS仮発番を共通辞書CCL18A、18B、19Aに置き換え

# 中小企業共通EDI標準v2の標準化範囲

国連CEFACT標準に準拠した取引プロセス・メッセージver.2\_r1

メッセージガイドライン

中小企業  
取引プロセス

見積

注文

出荷

検収

請求

支払  
通知

中小企業  
共通EDI  
メッセージ

見積  
依頼

見積  
回答

注文

注文  
回答

出荷  
案内

検収

請求

支払  
通知

標準仕様書

業務アプリの  
必須実装  
情報項目

11

17

16

18

16

21

21

21

プロバイダの  
必須実装  
情報項目

98

137

156

165

124

87

104

108

# バージョンアップ以降の取組み

## 1. 電子インボイスの実用化検討

- インボイス制度の導入が2023年10月に予定されている
  - しかし、紙取引のままインボイス制度を導入すると生産性の一層の低下を引き起こす
- EDIを活用した**電子インボイスによる自動処理**を実用化すれば、中小企業の生産性は大幅に向上する
- 電子インボイス実用化に向けて、**自動処理の実証検証**が必要  
→有志企業による実証検証チームの立ち上げを検討

## 2. 大手業界と中小企業取引メッセージ仕様の協議

- 前回パブコメで指摘された業界固有情報項目については、今回バージョンアップでは未対応
- 今後、大手業界団体と協議し、大手業界と中小企業取引用のメッセージ仕様を策定する